



おおたま

No.69

平成20年4月発行

発行／大玉村議会 編集／議会広報編集特別委員会 TEL0243(48)3131 FAX0243(48)3137



玉井小学校入学式

3月定例会で決まったこと 2～3面

20年度一般会計34億200万円 4～5面

一般質問 ここが聞きたい 11名が登壇 6～11面

議員発議 道路財源の安定的な確保に関する意見書提出 11面

女性議会開催 13面

3月定例会は、5日から14日までの10日間の会期で開かれました。

内容は、条例制定、改正関係15件、議員発議1件、補正予算9件、平成20年度一般会計予算等10件、人事案件3件が審議されました。また、最終日に追加議案として、人事案件1件、議員発議1件、意見書の提出1件が提出され、審議されました。

平成20年度は、依然として厳しい地方の経済情勢をかんがみ、引き続き効率的且つ的確な行財政運営に努める必要があります。

これらを踏まえ、編成された新年度予算は、総括質疑で集中審議され、各常任委員会で審議されたのち、原案のとおり可決されました。

大玉村議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議員報酬5%削減の
期間延長

今定例会において、議員発議により、現在行われている議員報酬削減の期間を来年の三月三十一日まで延長することを決めました。

大玉村後期高齢者医療に関する条例

本年四月から制度が開始される後期高齢者医療制度に関し、制度運用に当たり市町村が担うべき事務について規定するもの。

大玉村教育委員会の委員の定数を増加する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員の数の弾力化と教育委員への保護者の選任が義務化されたことに伴い、平成二十年四月一日より保護者から選任する委員一名を増加させ六名体制とするもの。

議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の給与勧告に準じて改正するもの。

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の給与勧告に準じて改正するもの。また、最近の社会経済情勢等をふまえ、給与月額を現在の一〇パーセント削減から五パーセントにして継続するもの。

教育長の給与・勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の給与勧告に準じて改正するもの。

大玉村国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成二十年度より実施することとなりました特定健康診査に関して、所要の改正を行うもの。

大玉村介護保険条例の一部を改正する条例

平成十八年度に行った、保険料の負担が急激に上昇する被保険者の負担軽減を図るため、激減緩和措置を平成二十年度まで継続するために所要の改正を行うもの。

その他の提出議案等

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

○大玉村重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例

○大玉村ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

○大玉村子育て支援医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

○大玉村特別会計条例の一部を改正する条例

○福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約

人事案件

副村長の選任

三月三十一日をもって任期満了を迎える、副村長について、遠藤武氏を副村長に再任いたしたく、地方自治法の定めに基づき議会の同意を求めるもの。

教育委員会委員の任命

四月二日で任期満了を迎える、押山利一氏を教育委員に再任いたしたく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき議会の同意を求めるもの。

区長の選任

現区長が平成二十年三月三十一日をもって任期満了を迎えるため、新区長を選任するもので、大玉村区長等設置条例第二条第三項の規定に基づき議会の同意を求めるもの。

教育委員会委員の任命

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、保護者からの委員として、渡邊広和氏を、人格識見ともに優れた方と認め教育委員に任命するため、議会の同意を求めるもの。

補正予算

今回の定例会には、一般会計のほか八会計の補正予算が提出され、審議の結果いずれも原案のとおり可決されました。各会計の補正額は次のとおりです。

会 計 名	補 正 額	補正後予算額
一般会計	△8,794万円	35億5,031万円
国民健康保険特別会計	3,111万円	8億4,836万円
玉井財産区特別会計	3千円	1,096万円
アットホームおおたま特別会計	107万円	1億2,194万円
老人保健特別会計	1,434万円	8億8,922万円
農業集落排水事業特別会計	△575万円	1億2,017万円
第二工業団地造成事業特別会計	12万円	1,003万円
介護保険特別会計（保険事業）	203万円	4億6,903万円
水道事業会計（営業関係）	65万円	1億5,826万円
水道事業会計（工事関係）	904万円	7,912万円

請願・陳情一覧表

●3月定例会に提出された請願

件 名	提 出 者	付託委員会	審査結果
村道谷地・戸ノ内線道路整備に関する請願書	大玉村大山 大玉12区 区長 渡辺 寿伝 他3名	産業建設	採 択

●3月定例会に提出された陳情

件 名	提 出 者	付託委員会	審査結果
陳情書村道「下谷地1号線、論田・高久線」一部舗装に関する件	大玉村大山 大玉16区 区長 村上 好 他1名	産業建設	採 択
村道谷地・五反田線道路整備に関する陳情書	大玉村大山 大玉13区 区長 小沼 弘 他2名	産業建設	採 択
「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情	兵庫県西宮市分銅町 日本熊森協会 会長 森山 まり子	産業建設	趣旨採択
村内建設業の振興と支援策に関する陳情書	大玉村玉井 大玉村商工会 会長 鈴木 誠一 他5名	総 務	不 採 択
原爆症認定制度の抜本的改善を厚生労働省に求める意見書に関する陳情	福島市北沢又 福島県原爆被害者協議会 会長 山田 舜	厚生文教	趣旨採択

平成20年度予算

一般会計

34億2百万円

住民の安心な生活を確保します。

- 子育て支援医療費助成に要する経費 4,949万円
- 保育所事業、維持管理に要する経費 1,218万円
- 保育所増改築に要する経費 9,600万円

衛生費

- 母子保健事業に要する経費 787万円
- 予防接種事業に要する経費 761万円
- 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 1,160万円
- 安達地方広域行政組合衛生費負担金 1,198万円
- 安達地方広域行政組合清掃費負担金 10,012万円
- 水道事業会計繰出金 4,676万円

総務費

- 安達地方広域行政組合総務費負担金
(広域的情報通信ネットワーク構築費) 1,111万円
- カーブミラー設置、区画線・路面表示等工事費 187万円
- ふるさとづくり等に要する経費 1,188万円
- 広域生活バス運行に要する経費 509万円
- 海外派遣事業に要する経費 731万円

民生費

- 社会福祉協議会に要する経費 5,407万円
- 重度心身障がい者援護に要する経費 3,140万円
- 障がい者自立支援法に要する経費 7,368万円

商工費

- 商工業の振興に要する経費 3,591万円
- 観光の振興に要する経費 737万円

土木費

- 道路維持に要する経費 2,941万円
- 道路新設改良に要する経費 1億7,584万円

消防費

- 安達広域行政組合消防費負担金 1億623万円
- 消防団の活動に要する経費 2,244万円
- 消防施設の整備に要する経費 2,360万円

教育費

- スクールバス運行に要する経費 1,239万円
- 外国青年招致事業に要する経費 516万円
- 小学校の管理運営に要する経費 1,682万円
- 中学校の管理運営に要する経費 2,263万円
- 幼稚園の管理運営に要する経費 8,124万円

特別会計及び企業会計

- 国民健康保険特別会計 8億344万円
- 玉井財産区特別会計 1,415万円
- アットホームおおたま特別会計 1億1,896万円
- 老人保健特別会計 9,404万円
- 農業集落排水事業特別会計 1億1,276万円
- 土地取得特別会計 3,470万円
- 大玉村介護保険特別会計
 - (保険事業) 4億9,087万円
 - (介護サービス事業) 1,300万円
- 後期高齢者医療特別会計 6,710万円
- 水道事業会計
 - (営業関係) 1億5,453万円
 - (工事関係) 1億700万円

平成二十年度の一般会計予算は、三十四億二百九十六万五千円であり、平成十九年度の当初予算と比較して、金額で千三万四千円の増となりました。

今回の予算額は、継続事業を重点配分し、総合的振興発展が図られるよう予算計上したものです。

三十四億円の予算は、村民皆さんが安心して暮らせる村づくりのために、有効に使われることになります。

- 後期高齢者医療制度に要する経費 8,463万円

農林水産業費

- 中山間地域等直接支払事業補助金 4,677万円
- 産業振興センターの管理運営に要する経費 855万円
- 生産調整の推進に要する経費 1,148万円
- 農業後継者の育成に要する経費 915万円
- 堆肥センターの運営等に要する経費 921万円
- 農地・水・環境保全向上事業補助金 602万円
- 松くい虫防除事業委託料 606万円

新年度における職員給の改正について、その理由と根拠を伺う。

問 村職員のラスパイレ
ス指数は九十六・七、
村以外の県内類似団体平均九
十四・六一、町村九五・一
三、全国町村九十三・九で、
村は高い水準にある。また、
県の賃金等の調査結果は十九
年平均給与で、前年比マイナ
ス三・六％、賃金面では現金
給与総額マイナス四・七％で、
職員給を上げる根拠は見当た
らない。村長の給与改定提案
の理由と根拠を伺う。

答 一つの目安として大
切な指数と思っている
が、一概に即高いとは言わ
ない。年齢構成、自治体の事業
量、定数の問題、少ない人数
でガンバレば、総体的には人
件費は少なく済むと、しか
し個人の指数では上がること
もあり、一概に指数だけでど
うこう言われない。問題は給
料以上の仕事をする事です。
〔村長〕

一般質問

保育所の増設工事に伴ない 「幼保一元化」についての提案

問 保育所の増設に伴な
い、「幼保一元化」(保
育所と幼稚園を一緒にした施
設)を計画してはどうか。現
在三ヶ所ある施設を一元化す
ることにより、経費の削減を
図り、就学前の児童の保育・
教育を一体的に行う「認定こ
ども園」の設置を考え、併せ
てミニ公園、図書館等の施設
拡充をして、行政、教育、文
化の拠点づくりを考えて欲し

い。経済的効果と教育的効果
を図る意味で実現はどうか。
また、保育所の工事に地産地
消の意味から玉井財産区の木
材の使用を申し入れましたが、
併せて分割発注等の方法によ
り、地元建設業者の活性化を
図る施策はどうか。



▲公共施設の耐震化優先度調査の結果は

〔遠藤文一議員〕



▲幼保一元化の今後の見通しは

〔押山義則議員〕

公共施設の耐震診断について

問 耐震化優先度調査の
結果を伺うと共に、旧耐
震基準で建設された、九つの公
共施設それぞれの、今後の対応、
取り組みと、耐用年数等を考
慮した、各施設の建て替えの時
期について伺う。

校で、優先度ランクが同じ場合
は、建築年度の古い方からと決
まっており、大山幼稚園、大玉
中学校、大山小体育館、玉井幼
稚園の順になっている。耐用年
数に満たなくとも、危険度合い
がある場合には、安全が第一であ
りますから、順番にこだわらず
に対応したい。

答 優先度ランクは、玉井
小学校、次に大山小学

〔企画財政課長〕

外に次の質問が
ありました。

- ・予算編成に当たり「地方公共団体の予算編成に係る財政課長内かん」の取り扱い・対応について
- ・「米を中心に農業の振興に力を入れる」について
- ・昨年4月に行われた全国学力調査の結果と、学力向上について
- ・鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律について
- ・県の地域づくり総合支援事業について

答 幼保一元化については、
かねてより内部的に検
討委員会を設けており、結果
的に地域のバランス等を考慮し、
また財政状況等も見きわめ、
今後、大玉村の人口の実態に応
じて検討をしていく方向で考え
ております。なお、現時点で保
育所の増設を図るものである。

地元業者の育成は当然検討
すべき課題ではあるが、予算的
なこと、既存の施設の改修、保
育しながらの対応、早期の待機
解消、工期の調整等の問題があ
り、分割発注は難しいと判断し、
一括発注の方向で臨まざるを得
ない。

〔健康福祉課長〕

〔村長〕

外に次の質問が
ありました。

- ・農振地区の除外の制度について
- ・本宮・石籐線の早期開通促進について
- ・観光事業について

農業・食糧について

問 今、食の安全について鋭く問い直されている。また、自給率の低下の一端を辿る中であって、食糧、農業の在るべき姿について村長の認識を伺う。

答 食糧政策については、貧国であると考えている。したがって自給率を上げるということでは、根本解決にはならない。農業関係団体、あるいは農業者自ら、今が大切な時期であると考え、農山漁村という分野について感心が深い町村が福島県農山漁村地域振興協議会という仲間を結成した。目標は一点、自給率を高めることと認識をしている。

〔村長〕



▲整備された住宅用地

定住促進事業について

問 中学生までの医療費無料などの子育て支援や、四号線沿線の企業立地と合わせ定住人口増加対策は今後の大玉村の柱である。これまでの成果を伺い、併せて、住宅促進地周辺の住民や、促進事業に参加されていない業者の方などからの理解と協力が不可欠だと考えるが。

答 一大政策の目標に掲げており、人は正に活力の源であると考えている。

成果については、分譲住宅団地二十五世帯、特別誘導ゾーン地内十三世帯、アパート二十八世帯、空き家一の合計六十七世帯であります。

〔企画財政課長〕
問い合わせのあった方には、事細かく丁寧に説明申し上げ、定住人口増加対策にご協力賜るよう説明していく。

〔副村長〕

一般質問

後期高齢者医療制度

問 後期高齢者医療制度が四月から実施されるが、説明会の参加人数はどの位だったのか。また、制度の理解と反応は。今後制度の運用に当たりどのような対策を考えているのか伺う。

を後期高齢者と区別するのか。我々も自ら負担をしなければならぬのか。という声がありました。

〔民生生活課長〕

敷かれた制度の中で、大玉村に極端な不幸な方をつくってはならないという考えで、今後ケースバイケースでの対応を考えていく。

〔村長〕

答 説明会が回数として十一回、参加者は九十名、各種団体からの要請が三回、六十七名であります。率直な声として、七十五歳以上



▲後期高齢者医療制度の説明は充分か

〔遠藤義夫議員〕

新年度の予算全般について

問 二十年度の当初予算について、村も自立三年目を経過しているが、財政は自立宣言のときに立てた計画通り推移しているのか。また、新年度の重点事業計画はどの点に力点を置くのか伺う。

答 税源移譲等の制度改正等はあったものの、自立計画の中の財政計画につ

いてはおおむね自立計画通りか、やや上回るペースで推移している。重点事業として、子育て支援、定住人口増加のための保育所の増改築工事、神原田・馬尽線の道路網の整備、消防積載車の配備、中学校屋外トイレ建設、担い手経営基盤対策事業等である。

〔企画財政課長〕

外に次の質問がありました。



・農政の取り組みと考えるについて

特別支援教育の推進について

問

大玉村は村独自で補助職員や、個別に支援を行う介助員の配置が行われていますが、現在はこの職員・介助員の配置はどのようになっているか。この方々が毎日子どもと関わっていくなかでの悩みを相談できる場が必要と思うが、この体制はとられているのか。また、みなさんの資質を向上させるための研修も必要と思うが、行われているのか。

答

補助教員は、各小学校に一名ずつ、介助員は、幼稚園にそれぞれ一名、大山小学校二名、玉井小学校一名です。

〔教育総務課長〕

職員会議等で先生方と共通認識を持ち、日常的に相談しながら進めています。研修については、二十年度に本宮方の特別支援協議会の事業と、村独自の研修も実施したいと考える。

〔教育長〕



▲小学校の授業の様子

農政問題について

問

農水省東北農政局は、「米の作りすぎはもつたない」などというポスターを作り農家から大変な反発がでています。農水省のこのような立場を村長はどう思うか。また、今日の農業問題を打開するためには農家をはじめとして、農業委員会や行政が力を結集する必要があると思いますが、村長の考えを伺う。

答

農水省の職員は農業振興のために働いているはずですが、結果として憤りを感じています。また、県農山漁村地域振興協議会の力を大きくしていくこと、さらに自治体と農業委員会やJA、そして農家・生産者が、正に協力一致し声を大にしていきたいと考える。

〔村長〕

外に次の質問がありました。

・学校給食における安全について

一般質問

矢祭町の行財政計画と議員日当制について

問

矢祭町の行財政改革は、町長を含む三役は報酬三〇%以上カット、課長並みの五十二万三千円になり、議員報酬を現行の月給制から日当制に議決された。議会に出席するたび一定額を支給し、一日三万円に決定しました。今まで年三百万ほどの報酬が日当制により約三分の一の百万程度になりました。削減されたことにより、財政再建と町民の付託に答えることが出来る。農商工の産業がますます

議員日当制について

す厳しくなる中で、行政議員自らが村民の付託に答えるためにも、矢祭町の行った事を積極的に研究し、実行すべきと思う。それが村民の幸せと自立した責任であると思う。

また、川俣町で矢祭町を例に議会議員研究会を開き、福大の教授を招き議員報酬制度について「議員は本来ボランティアであるべきか」「議員報酬は生活費か活動費か」活動の退化などについて話し合い、川俣町も自立を宣言した町で

〔佐原吉太郎議員〕



▲行財政改革の推進は

あり、町民の付託に答えるためにこのような研究会を行ったと聞いている。矢祭町においては、歳出削減の物件費を人件費削減に向け、前町長自ら職員と共に早出などにより外注費人件費削減を行い、町民もボランティアとして参加していると聞きます。村長の見解を伺う。

答

矢祭町の日当制導入、これは議員の提案により、調査特別委員会の設置を通じ、決定された事案であります。現在の大玉村の状況において、良いとか悪いとかコメントする立場にありません。川俣町議会の研究会の件も、前記同様コメントする立場にありません。大玉村は、大玉村の発展のため、議員としての責任を果たす。しかるべくそれ相当の働きをする。その言につきると思う。〔村長〕

外に次の質問がありました。

・大玉村で自立を目指して四年目に入り、今後ますます財政が厳しく財政改革がより必要となります。村民サービスが低下するようでは困ると思うがこれらについて

来年度の重点施策について

問 来年度の村政基本方針が出されました。ハード面事業では保育所工事請負費や、消防費でポンプ車三台の購入代金と思うが、これ以外にあるか。一方ソフト事業ではどんな事業があるか伺う。そろそろ自立した村の真価が問われる時に来ているがこの点も伺う。

答 ハード面では、公用車、庁舎周辺環境整備工事費、堆肥センタートラックスケール設置工事、武道館屋根塗装、中学校屋外トイレ等になります。ソフト事業では、耐震診断業務、ふるさと創生事業、障がい者自立支援事業、後期高齢者医療負担金等です。

〔企画財政課長〕



▲苗畑跡地の有効活用を

旧苗畑地の今後の利用について

問 村当局として今次議会に国より取得した玉井字横堀地内の旧苗畑用地に維持管理費が計上されました。特に市民農園と観光面をセツトした事業を率先して進めるとの事、その他面積も約九ヘクタール程ありますので、その他の取り組みを伺う。

答 住民代表を含めた、利用のための検討委員会、今年度前半には方向付けがなされる。長期展望に立った、有効適切な利用策を考えていく。

〔村長〕

外に次の質問がありました。
↓
・道路特定財源について
・道路関係について
・農政問題について

一般質問

四号沿線開発と企業誘致促進に向けた取り組みについて

問 安定した就業の場合は、若者の定住人口増、また自主財源確保の観点からも最重要と考える。第一工業団地の開発、四号沿線の農振除外や、誘致企業税優遇措置、高速ブロードバンド整備等、またスマートインターチェンジ、J R 大玉駅の誘致運動展開について伺う。

答 大玉村の活性化のため、雇用対策、企業誘致について、重点施策の一つとして、積極的に展開していきたい。高速ブロードバンド整備については、関連企業との連携を深め、環境整備の早期促進を図りたい。スマートインターチェンジ、駅、いずれも必要性があると考えます。充分研究して対応したい。

〔村長〕



▲整備が進む国道4号

〔鈴木宇一議員〕

村政執行方針の考え方について

問 職員研修の成果について。生産調整の課題について。環境にやさしい農業についての所見を伺う。

生産調整については、水田農業活性化緊急対策、また特例作物等の組み合わせを図り、一〇〇％達成を推進していきたい。

〔農政課長〕

答 一般の事務的研修、専門研修、最近では基礎能力、マネージメント能力、政策能力が問われております。それぞれ計画的に実施されており、相当の効果が上がっていると考えます。

〔総務課長〕

安心安全農産物推進協議会を立ち上げました。大玉村ならではの農産物であるというブランド化を目指して努力していく。

〔村長〕

通学路の安全対策について

問

村道神原田・馬尽線
道路改良舗装工事については、大山村道踏切の改良拡幅工事のみで、平成二十年度で全線完了の予定だが、すでに工事が完了している、JR東北本線上り線のトンネル出口付近が、道路拡幅により大変危険と予想される。応急処置(安全対策ネット)があるが、安全確保のため防護柵等の設置の予定はあるか伺う。

答

危険だという連絡があり、現状を見て仮設ではあるが、安全対策を講じたところですが。JRの方には連絡を取りましたが回答は聞いていない。しかし、危険であるので、二十年度踏切改良工事終了後には、何らかの措置をしたいと考える。

〔建設課長〕

外に次の質問がありました。

・大玉つ子見守り隊について
・災害に対する備えについて
・定住人口対策について

一般質問

大玉村安心・安全の村づくりについて

問

大玉村が現在取り組んでいるそれぞれの施策や問題点を問う。また、それらを推進していく上で最も大切なことは、組織や団体、個々の住民との「連携」が重要と考えるが、その点について当局の考えを伺う。特に提案事項として「地産地消推進協議会の設立」が必要と考えるが。

答

エコオフィス計画で紙のリサイクル、電気消費削減、ゴミの資源化、EM菌活用の水の浄化等、組織連携については、資源により林業関係、農家関係との連携が必要になります。

〔住民生活課長〕

地産地消は、現実に取り組んでいる。協議会についても前向きに検討したいと考える。

〔村長〕



▲安心安全の農作物を

〔佐々木市夫議員〕

〔菊地利勝議員〕



▲踏切周辺の安全確保を

社会体育と健康づくりについて

問

平成二十年四月に誕生する「おおたまスポーツクラブ」の設立状況と今後の運営について。若者の運動離れ、中高年の健康の対応、また介護予防や健康増進を図るには大きいと思うが、障がいや事故などに対応するため、定期的に健康チェックが必要。地域住民が主役となったスポーツ環境づくり、しっかりと定着してもらいたい、村としての考えを伺う。

答

スポーツクラブ設立に向け幹事会十四回、準備委員会三回開催し、四月二十日の設立総会に向け、PTA総会等各種会合に出向いて、会員募集活動を行っている。若者の運動離れ問題は、体協との共存関係の事もあり、今後種目等を考えていきたい。中高年は生活習慣病の予防に努め、その他はスポーツドクターを顧問として視野に入れ運営委員会等で問題点を話し合い進めて生きたい。

〔生涯学習課長〕

地域の活性化と産業振興策について

問

農業も商工業も含めた農村の疲弊化の状況に、危機感を覚える現状であるが、村長が言う、農政の改革の訴えも大切なことであるが、足元の農家、農村の現状を把握して、「日本一の農業、農村」を目指して、「大玉村の農産物のブランド化」を図るなどの、今すぐできることから手を付けることについて考える。

答

農は国の基、まして大玉村は基幹産業が農業でありますから、そういう意味で一層の努力をしていきたい。企業等を訪問して行政として、どういうことを期待しているのか聞かせてもらった。農業問題に関しては、一人の力より、多くの力という事で福島県農山漁村地域振興協議会を立ち上げ、大玉村共々に伸びていく運動をしていく。

〔村長〕

外に次の質問がありました。



・平成二十年度大玉村村政執行方針から

議員発議

意見書提出

道路財源の安定的な確保に関する意見書

本村は福島県の中通りに位置し、県都福島市と郡山市を結ぶ位置にあり、国道四号により両市及び首都圏と結ばれています。

本村では、「第三次大玉村総合振興計画」において、生活を支える道路網の整備として国道四号の四車線化の早期完成に向けての基幹道路の整備促進、これら基幹道路に接続する広域道路網の整備、併せて生活道路網の整備について平成二十二年度を目標年次に掲げております。

本村は福島県の中通りに位置し、県都福島市と郡山市を結ぶ位置にあり、国道四号により両市及び首都圏と結ばれています。

本村では、「第三次大玉村総合振興計画」において、生活を支える道路網の整備として国道四号の四車線化の早期完成に向けての基幹道路の整備促進、これら基幹道路に接続する広域道路網の整備、併せて生活道路網の整備について平成二十二年度を目標年次に掲げております。

本村は福島県の中通りに位置し、県都福島市と郡山市を結ぶ位置にあり、国道四号により両市及び首都圏と結ばれています。

本村では、「第三次大玉村総合振興計画」において、生活を支える道路網の整備として国道四号の四車線化の早期完成に向けての基幹道路の整備促進、これら基幹道路に接続する広域道路網の整備、併せて生活道路網の整備について平成二十二年度を目標年次に掲げております。

提出先

● 衆議院議長
● 参議院議長

一般質問

外に次の質問がありました。

・定住人口増加対策について

大玉産米の太い販売ルートの確立について

問

米価の下落が続いていますが、大玉村農政の中心である米作りが大変心配されるところです。コスト競争、販売競争の時代が来たと考えます。本宮市、二本松市と協力して、JAみちのく安達が消費者と近い距離（全農、代理店をなるべく通さずに）での太い販売ルートの確立を促すべきと考えるが、それらについて伺う。

答

トップセールスということで、大玉産米八千俵くらい札幌の「どうべい」に行き昨年販売努力をしております。農家も生産に力をいれて、販売には希薄なところもありましたが、これからは、PR、販売努力も必要と考える。

〔村長〕



▲販売ルートの確立を

生活保護制度について

問

我村の保護世帯数は大変少ないと聞きますが、困った人は少ないのですか。保護申請の発行受理はスムーズに行っていますか。福祉事務所によって保護基準が厳しすぎるといふことはないのですか。申請主義ならば、生活条件を設定し、大玉村の保護基準を公表しなければならぬと思うが、それらについて伺う。

答

村内の生活保護世帯数は五世帯で、県平均四・五%ですから、二十分の一程度の数字です。扶養義務者の支え合いが大玉村は強いと考える。申請の件は、取り下げる場合もあるが、門前払いをすることはない。また、福祉事務所が厳しい場合には、法にのっとり住民の立場で対応する。申請主義の件は、担当者、保健師、介護師、民生委員等連絡を密にして生活を支えていく。

〔健康福祉課長〕

臨時議会

議案番号	件名	内容	結果
議案第1号	平成19年度村道町尻・当地内線道路改良舗装工事請負変更契約について	湧水処理、既設アスファルト舗装盤の撤去・処分、及び信号機の移設費用等の追加により工事請負契約の変更に際し議会の議決を求めるもの。	可決

行政報告

定例会にあたり、議会の運営に関する基準第五章第五十七に基づき、行政報告がありましたので、要約してお知らせします。
(三月五日現在)

総務課

○福島県農山漁村地域振興協議会については、本協議会の事務局を大玉村が務める、今後の諸活動、政策提言などを検討するため、農政課を中心に庁内プロジェクトチームを設置。

企画財政課

○学校施設等耐震化優先度調査について、昨年七月より幼稚園・小中学校を対象に、鉄筋コンクリート造り校舎二棟、鉄骨造り屋内運動場二棟、鉄骨造り幼稚園舎二棟の調査を実施。
○苗畑跡地の利用計画について、「公共用地利用計画検討委員会」を開催し、

農政課

検討内容として、市民農園の開設や特産品の栽培に併せて花や水、道路や駐車場等を整備することにより「観光」を全面に出していくことや、そのための組織をどうするか検討。

○平成十九年度水田農業構造改革対策については、昨年十二月定例議会において、「地域間調整により、100%達成する」旨の答弁をしたが、その後、地域水田農業推進協議会の事務局である農協より、時期的な問題で地域間調整が行えなかった旨の報告があり、結果的に大玉村として生産過剰、転作未達成となった。
○中山間地域等直接支払事業については、十六集落が集落協定を締結し、協定締結面積 二百五十二・九七一九ヘクタールの事業に取り組んだ。
○松くい虫の被害から森林資源を保全するため、伐倒駆除・地上散布を実施。

建設課

○国道四号四車化拡幅工事につきましては、現在年度内完成に向け工事を進めているが、用地等の関係で一部を除き完了する予定であります。なお、平成二十年度中には全線完成の見込。

上下水道課

○農業集落排水事業については、各浄化センターは円滑に稼動しており、事業の運営も順調に推移をしている。また、玉井第二地区浄化センターへの接続状況は、二月一日現在で二百四十一戸、四十一・九%。
○国道四号四車化拡幅工事に伴う上下水道施設工事については、東・狐森地内の交差点及び堂ヶ久保までの延長布設の間で、一部、集落排水管、水道配水本管布設及び給水管移設工事が、拡幅工事の進捗状況から平成二十年度に移行する予定。

住民生活課

○後期高齢者医療制度については、地区ごとの説明会を開催した。なお、周知の徹底については、今後あらゆる機会を捉え、要望に応えて行きたい。

健康福祉課

○平成二十年度保育所入所申込み受付状況は、二月十八日現在、一〇九名となり、前年度より希望者が二十四名増加。新年度建設予定の保育所の増築に向け測量・設計の準備を進めており、早期の完成を期すとともに、待機児童の解消に努めていく。

生涯学習課

○総合型地域スポーツクラブについては、去る二月二十六日に第三回目の設立準備委員会を開催し、来月に設立を予定しているスポーツクラブの総会提案事項を審議、検討した。

第4回 大玉村女性議会開催



女性議会は、村政についての理解と関心を深め、女性の社会参画を推進するとともに、生活者の視点を村づくりに反映することを目的とし村内各種女性団体等の代表者(推薦を受けた者)により開催いたしました。女性議会は、赤十字奉仕団の国分秀子さんが議長として、会議を進めました。

氏 名	学 校 名	質 問 の 内 容	
渡邊 紀代	大玉村婦人会	新しい医療制度について	ほか1件
柳田喜美子	婦人消防協力隊		
伊藤由美子	交通安全母の会玉井分会	農村集落排水の加入促進について	ほか1件
武田 弘子	交通安全母の会玉井分会	通学路の融雪剤散布と大型トラックの時間帯通行禁止について	ほか1件
遠藤かおり	交通安全母の会大山分会	「おおたまの米」の全国発信について	ほか1件
平栗 浩子	磐青の会		
福内ハルイ	生活研究グループ連絡協議会	食育を村内の小中学生と共に学んでいきたいです	ほか1件
今井 善子	食生活改善推進員		
大戸トシ子	文化団体連絡協議会		
眞壁 香織	PTA連絡協議会	村民体育館の利用について	ほか2件
熊谷 眞弓	PTA連絡協議会		
鈴木タカ子	商工会女性部	ふれあい広場の有効活用について	ほか1件
武田ふじ子	商工会女性部		
日下部テル	老人クラブ連合会	村老く連、区老人クラブに対する活動補助金交付について	ほか1件
国分 秀子	赤十字奉仕団	議 長	

傍聴席



議会を傍聴して想うこと



松井登喜也さん

この度、傍聴の機会を得たので出席を致しました。当日は現在の区長会、農業委員会の役職、一般の方々、計五十三名の傍聴

で席は満杯であり、これは地方分権改革の高まりの中で、村執行部と議会双方の責任と役割を明らかにして、村民の期待と付託にどう応えるか確認と検証にほかならない。今時代は大きな変革期にあり、地方、農村も混住化社会にあつて様々な問題に直面しており、行政もその対応に苦慮しているのが実態と想われます。議員の質問も

私達の生活に直面した内容で全般にわたり質問と指摘があり、即、執行部より答弁が明快にあつて傍聴者にとっては一問一答方式は議会と村政を理解する上で大いに成果をとげたことと評価したい。一方国の三位一体改革から多くの問題に直面しており、特に地方財政は極めて厳しい状況にある中で幸い当村は実質公債費比率十六・四％維持していますが、厳しい社会環境であるので、村民サービスを下下することなく、向上を果た

すには更なる行財政の健全運営の維持向上させることから、議員の意識改革と事務改善等含む、内からの行財政改革と当村の現行議員定数は適当か否かについても議員自ら問題提起をして議論を深め、他市町村が表しているように村民にその英断を示して下さることを願うのは私だけだろうか。基本理念の「住民が主役」の協働の村づくりに執行者、議会、職員共々全力で取り組んでいることを実感した傍聴でした。

編集後記

三寒四温を地でいくような陽気が

続いております。体調維持、健康管理には万全を期したいものです。

言い伝えに「三里四方の野菜を食べろ」とあります。畑からの採りたて新鮮、栄養豊富な野菜を食べれば、長寿延命間違いなしといえます。食の安全が、全国各地で注目されており、地産地消を考えましょう。

新年度がスタートしました。世の中、四苦八苦の時代ではありますが、広報委員会、心新たに、議会だよりの充実を目指してまいります。今年度も、ご拝読よろしくお願い申し上げます。



議会日誌

2月

- 8日 第1回2月臨時会議会運営委員会
- 13日 第1回2月臨時会
- 17日 第4回女性議会
- 18日 三重県伊賀市議会視察研修来村
- 21日 定例議員会
- 25日 安達地方広域議会2月定例会
- 26日 福島県町村議会議長会定期総会
- 27日 安達地方市町村議会議長会定期総会
- 29日 第2回3月定例会議会運営委員会

3月

- 5～14日 第2回3月定例会
- 13日 大玉中学校卒業式
- 18日 玉井・大山幼稚園卒園式
- 21日 玉井・大山小学校卒業式

4月

- 3日 議会広報編集特別委員会
- 7日 小学校・中学校入学式
- 14日 玉井・大山幼稚園入園式
- 15日 議会広報編集特別委員会
- 21日 定例議員会
- 22日 議会広報編集特別委員会

村政を知るよい機会です
お気軽に傍聴してみませんか

次の議会は **6** 月です

問い合わせ先…

議会事務局 TEL.48-3131 [内線270]

議会広報編集特別委員

- 委員長 ● 小沼 清子
- 副委員長 ● 遠藤 義夫
- 委員 ● 押山 義則
- 委員 ● 武田 悦子
- 委員 ● 鈴木 義一
- 委員 ● 大戸 隆